

## 交付図書の訂正について

令和6年4月5日付けで入札公告を行った「(工事名) 道東自動車道 占冠PA工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の入札公告についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、入札公告をご確認ください。

令和6年7月24日

契約責任者

東日本高速道路株式会社北海道支社  
支社長 堀 圭一

### 【訂正図書】

- ・11\_【特記仕様書】道東自動車道 占冠PA工事
- ・12\_【割掛対象表参考内訳書】道東自動車道 占冠PA工事
- ・17\_【設計図】道東自動車道 占冠PA工事
- ・20\_【設計図】道東自動車道 占冠PA工事
- ・30\_【別紙-1\_工事工程】道央自動車道 占冠PA工事

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください

### 正誤表(1)

工事件名) 道東自動車道 占冠 P A 工事

修正箇所		正誤区分																															
特記仕様書 27-5-7 ドレンかご のり面工		<p>2.7.5-7 ドレンかごのり面工</p> <p>(1) 定義 ドレンかごのり面工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、本線切土のり面の掘削・整形後、ドレンかごをのり面に設置するものをいう。</p> <p>(2) 種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th><th>区分内容</th><th>摘要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドレンかごのり面工 A</td><td>本線切土のり面ののり尻からのり肩に、ドレンかご（厚さ 25 cm）を設置するもの</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 材料 ドレンかごのり面工に使用する材料は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th><th>規格・寸法</th><th>摘要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドレンかご</td><td>JIS A 5513（じゃかご）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの</td><td>φ3.2</td></tr> <tr> <td>アンカーピン</td><td>JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの</td><td>D22-1, 100 mm (かご 1 枚につき 2 本)</td></tr> <tr> <td>中詰材</td><td>切込碎石（C-80）とする。</td><td>購入材</td></tr> <tr> <td>張芝</td><td>幅 30 cm 以上、長さ 1m 以上のもの。 品質は、茎及び根系が繁殖し、刈込みがなされ土付が多く枯死・くされ・病虫害がないもの</td><td>ロール芝 (裏張り 2 枚重ね)</td></tr> <tr> <td>植生土のう</td><td>植生土のう袋 40 cm × 60 cm</td><td>現地発生土</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工 ドレンかごのり面工の施工は、設計図書及び監督員の指示に従って、本線切土のり面の掘削・整形後、床ごしらえの割付をして、かご頭の位置を定め布設した後、中詰材及び裏返した張芝をのり肩及びのり尻がへん平にならないように十分に充てんして、張芝を設置し所定の断面形状に仕上げなければならない。</p> <p>(5) 数量の検測 ドレンかごのり面工の数量の検測は、設計数量（m<sup>3</sup>）で行うものとする。</p> <p>(6) 支払 ドレンかごのり面工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m<sup>3</sup>当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う本線切土のり面の掘削・整形、掘削土の処理、ドレンかごの組立、据付、中詰材の充てん、張芝の設置、アンカーピンの設置、植生土のうの設置等ドレンかごのり面工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するため必要な費用で諸経費に含まれるものと算入する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特- (3) ドレンかごのり面工</td><td>A m<sup>3</sup></td></tr> </tbody> </table>	材料	区分内容	摘要	ドレンかごのり面工 A	本線切土のり面ののり尻からのり肩に、ドレンかご（厚さ 25 cm）を設置するもの		材料	規格・寸法	摘要	ドレンかご	JIS A 5513（じゃかご）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの	φ3.2	アンカーピン	JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの	D22-1, 100 mm (かご 1 枚につき 2 本)	中詰材	切込碎石（C-80）とする。	購入材	張芝	幅 30 cm 以上、長さ 1m 以上のもの。 品質は、茎及び根系が繁殖し、刈込みがなされ土付が多く枯死・くされ・病虫害がないもの	ロール芝 (裏張り 2 枚重ね)	植生土のう	植生土のう袋 40 cm × 60 cm	現地発生土	単価表の項目	検測の単位	特- (3) ドレンかごのり面工	A m <sup>3</sup>			
材料	区分内容	摘要																															
ドレンかごのり面工 A	本線切土のり面ののり尻からのり肩に、ドレンかご（厚さ 25 cm）を設置するもの																																
材料	規格・寸法	摘要																															
ドレンかご	JIS A 5513（じゃかご）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの	φ3.2																															
アンカーピン	JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの	D22-1, 100 mm (かご 1 枚につき 2 本)																															
中詰材	切込碎石（C-80）とする。	購入材																															
張芝	幅 30 cm 以上、長さ 1m 以上のもの。 品質は、茎及び根系が繁殖し、刈込みがなされ土付が多く枯死・くされ・病虫害がないもの	ロール芝 (裏張り 2 枚重ね)																															
植生土のう	植生土のう袋 40 cm × 60 cm	現地発生土																															
単価表の項目	検測の単位																																
特- (3) ドレンかごのり面工	A m <sup>3</sup>																																
特記仕様書 27-5-7 ドレンかご のり面工		<p>2.7.5-7 ドレンかごのり面工</p> <p>(1) 定義 ドレンかごのり面工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、本線切土のり面の掘削・整形後、ドレンかごをのり面に設置するものをいう。</p> <p>(2) 種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th><th>区分内容</th><th>摘要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドレンかごのり面工 A</td><td>本線切土のり面ののり尻からのり肩に、ドレンかご（厚さ 25 cm）を設置するもの</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 材料 ドレンかごのり面工に使用する材料は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th><th>規格・寸法</th><th>摘要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドレンかご</td><td>JIS A 5513（じゃかご）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの</td><td>φ3.2</td></tr> <tr> <td>アンカーピン</td><td>JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの</td><td>D22-1, 100 mm (かご 1 枚につき 2 本)</td></tr> <tr> <td>中詰材</td><td>切込碎石（C-80）とする。</td><td>購入材</td></tr> <tr> <td>張芝</td><td>幅 30 cm 以上、長さ 1m 以上のもの。 品質は、茎及び根系が繁殖し、刈込みがなされ土付が多く枯死・くされ・病虫害がないもの</td><td>ロール芝 (裏張り 2 枚重ね)</td></tr> <tr> <td>植生土のう</td><td>植生土のう袋 40 cm × 60 cm</td><td>現地発生土</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 施工 ドレンかごのり面工の施工は、設計図書及び監督員の指示に従って、本線切土のり面の掘削・整形後、床ごしらえの割付をして、かご頭の位置を定め布設した後、中詰材及び裏返した張芝をのり肩及びのり尻がへん平にならないように十分に充てんして、張芝を設置し所定の断面形状に仕上げなければならない。</p> <p>(5) 数量の検測 ドレンかごのり面工の数量の検測は、設計数量（m<sup>3</sup>）で行うものとする。</p> <p>(6) 支払 ドレンかごのり面工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m<sup>3</sup>当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うドレンかごの組立、据付、中詰材の充てん、張芝の設置、アンカーピンの設置、植生土のうの設置等ドレンかごのり面工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するため必要な費用で諸経費に含まれるものと算入する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特- (3) ドレンかごのり面工</td><td>A m<sup>3</sup></td></tr> </tbody> </table>	材料	区分内容	摘要	ドレンかごのり面工 A	本線切土のり面ののり尻からのり肩に、ドレンかご（厚さ 25 cm）を設置するもの		材料	規格・寸法	摘要	ドレンかご	JIS A 5513（じゃかご）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの	φ3.2	アンカーピン	JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの	D22-1, 100 mm (かご 1 枚につき 2 本)	中詰材	切込碎石（C-80）とする。	購入材	張芝	幅 30 cm 以上、長さ 1m 以上のもの。 品質は、茎及び根系が繁殖し、刈込みがなされ土付が多く枯死・くされ・病虫害がないもの	ロール芝 (裏張り 2 枚重ね)	植生土のう	植生土のう袋 40 cm × 60 cm	現地発生土	単価表の項目	検測の単位	特- (3) ドレンかごのり面工	A m <sup>3</sup>			
材料	区分内容	摘要																															
ドレンかごのり面工 A	本線切土のり面ののり尻からのり肩に、ドレンかご（厚さ 25 cm）を設置するもの																																
材料	規格・寸法	摘要																															
ドレンかご	JIS A 5513（じゃかご）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの	φ3.2																															
アンカーピン	JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格に適合、またはこれと同等以上のもの	D22-1, 100 mm (かご 1 枚につき 2 本)																															
中詰材	切込碎石（C-80）とする。	購入材																															
張芝	幅 30 cm 以上、長さ 1m 以上のもの。 品質は、茎及び根系が繁殖し、刈込みがなされ土付が多く枯死・くされ・病虫害がないもの	ロール芝 (裏張り 2 枚重ね)																															
植生土のう	植生土のう袋 40 cm × 60 cm	現地発生土																															
単価表の項目	検測の単位																																
特- (3) ドレンかごのり面工	A m <sup>3</sup>																																

## 正誤表(2)

工事件名) 道東自動車道 占冠 P A 工事

修正箇所	正誤区分
設計図 用排水工 油水分離ます工 詳細図(1)	誤
設計図 用排水工 油水分離ます工 詳細図(1)	正

### 正誤表(3)

工事件名) 道東自動車道 占冠 P A工事

修正箇所	正誤区分
設計図 雑工 立入防止柵 詳細図	誤
設計図 雑工 立入防止柵 詳細図	正

## 正誤表(4)

工事件名) 道東自動車道 占冠 P A工事

修正箇所		正誤区分																																																	
割掛対象表 参考内訳書 (1/4)	誤	割掛対象表参考内訳書 1 /4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用機械運搬費</td><td>質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) アトラクタニッパー (カラーテ型 3.0 ~ 12.0 m) : 1台、1往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 土工 )</td><td>本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) リッパブルドーザ 3.2t : 2台 - 3 往復 1台 - 1 往復 バックホウ 1.0m3 以上 : 4台 - 3 往復 湿地ブルドーザ 2.0t 級 : 1台 - 2 往復 1台 - 3 往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 国渠工 )</td><td>函渠工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) トラッククレーン 2.00t 級 : 2台、2往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 仮設構造物工 )</td><td>仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 2.00t 級 : 1台、2往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 鋼矢板土留工 )</td><td>仮設構造物工 ( 鋼矢板土留工 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台、2往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 地盤改良 )</td><td>地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) バックホウ 0.8m 級 (ベースマシン) : 1台 - 2 往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) A</td><td>構造物掘削特殊部 A で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr> <tr> <td>仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) B</td><td>構造物掘削特殊部 B で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr> <tr> <td>仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) C</td><td>構造物掘削特殊部 C で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr> <tr> <td>仮設材等運搬費 ( 仮設構造物工 )</td><td>仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する仮設材 ( H 形鋼、覆工板、鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 仮桟橋で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr> <tr> <td>土質等試験費</td><td>土の凍上試験 (JG50172-2009 凍上判定のための凍上試験 法) に要する費用をいう。</td><td>【土の凍上試験】 4 試料</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工事用機械運搬費	質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) アトラクタニッパー (カラーテ型 3.0 ~ 12.0 m) : 1台、1往復	—	工事用機械分解組立費 ( 土工 )	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) リッパブルドーザ 3.2t : 2台 - 3 往復 1台 - 1 往復 バックホウ 1.0m3 以上 : 4台 - 3 往復 湿地ブルドーザ 2.0t 級 : 1台 - 2 往復 1台 - 3 往復	—	工事用機械分解組立費 ( 国渠工 )	函渠工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) トラッククレーン 2.00t 級 : 2台、2往復	—	工事用機械分解組立費 ( 仮設構造物工 )	仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 2.00t 級 : 1台、2往復	—	工事用機械分解組立費 ( 鋼矢板土留工 )	仮設構造物工 ( 鋼矢板土留工 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台、2往復	—	工事用機械分解組立費 ( 地盤改良 )	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) バックホウ 0.8m 級 (ベースマシン) : 1台 - 2 往復	—	仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) A	構造物掘削特殊部 A で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—	仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) B	構造物掘削特殊部 B で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—	仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) C	構造物掘削特殊部 C で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—	仮設材等運搬費 ( 仮設構造物工 )	仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する仮設材 ( H 形鋼、覆工板、鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 仮桟橋で使用する仮設材の運搬費	—	土質等試験費	土の凍上試験 (JG50172-2009 凍上判定のための凍上試験 法) に要する費用をいう。	【土の凍上試験】 4 試料	—
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																
工事用機械運搬費	質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) アトラクタニッパー (カラーテ型 3.0 ~ 12.0 m) : 1台、1往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 土工 )	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) リッパブルドーザ 3.2t : 2台 - 3 往復 1台 - 1 往復 バックホウ 1.0m3 以上 : 4台 - 3 往復 湿地ブルドーザ 2.0t 級 : 1台 - 2 往復 1台 - 3 往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 国渠工 )	函渠工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) トラッククレーン 2.00t 級 : 2台、2往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 仮設構造物工 )	仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 2.00t 級 : 1台、2往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 鋼矢板土留工 )	仮設構造物工 ( 鋼矢板土留工 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台、2往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 地盤改良 )	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) バックホウ 0.8m 級 (ベースマシン) : 1台 - 2 往復	—																																																
仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) A	構造物掘削特殊部 A で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—																																																
仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) B	構造物掘削特殊部 B で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—																																																
仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) C	構造物掘削特殊部 C で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—																																																
仮設材等運搬費 ( 仮設構造物工 )	仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する仮設材 ( H 形鋼、覆工板、鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 仮桟橋で使用する仮設材の運搬費	—																																																
土質等試験費	土の凍上試験 (JG50172-2009 凍上判定のための凍上試験 法) に要する費用をいう。	【土の凍上試験】 4 試料	—																																																
割掛対象表 参考内訳書 (1/4)	正	割掛対象表参考内訳書 1 /4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用機械運搬費</td><td>質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) アトラクタニッパー (カラーテ型 3.0 ~ 12.0 m) : 1台、1往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 土工 )</td><td>本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) リッパブルドーザ 3.2t : 2台 - 3 往復 1台 - 1 往復 バックホウ 1.0m3 以上 : 4台 - 3 往復 湿地ブルドーザ 2.0t 級 : 1台 - 2 往復 1台 - 3 往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 国渠工 )</td><td>函渠工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) トラッククレーン 2.00t 級 : 2台、2往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 仮設構造物工 )</td><td>仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台、2往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 鋼矢板土留工 )</td><td>仮設構造物工 ( 鋼矢板土留工 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 2台 - 2 往復 【現場内移動】 クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台 - 1回</td><td>—</td></tr> <tr> <td>工事用機械分解組立費 ( 地盤改良 )</td><td>地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) バックホウ 0.8m 級 (ベースマシン) : 1台 - 2 往復</td><td>—</td></tr> <tr> <td>仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) A</td><td>構造物掘削特殊部 A で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr> <tr> <td>仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) B</td><td>構造物掘削特殊部 B で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr> <tr> <td>仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) C</td><td>構造物掘削特殊部 C で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr> <tr> <td>仮設材等運搬費 ( 仮設構造物工 )</td><td>仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する仮設材 ( H 形鋼、覆工板、鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 仮桟橋で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr> <tr> <td>土質等試験費</td><td>土の凍上試験 (JG50172-2009 凍上判定のための凍上試験 法) に要する費用をいう。</td><td>【土の凍上試験】 4 試料</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工事用機械運搬費	質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) アトラクタニッパー (カラーテ型 3.0 ~ 12.0 m) : 1台、1往復	—	工事用機械分解組立費 ( 土工 )	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) リッパブルドーザ 3.2t : 2台 - 3 往復 1台 - 1 往復 バックホウ 1.0m3 以上 : 4台 - 3 往復 湿地ブルドーザ 2.0t 級 : 1台 - 2 往復 1台 - 3 往復	—	工事用機械分解組立費 ( 国渠工 )	函渠工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) トラッククレーン 2.00t 級 : 2台、2往復	—	工事用機械分解組立費 ( 仮設構造物工 )	仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台、2往復	—	工事用機械分解組立費 ( 鋼矢板土留工 )	仮設構造物工 ( 鋼矢板土留工 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 2台 - 2 往復 【現場内移動】 クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台 - 1回	—	工事用機械分解組立費 ( 地盤改良 )	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) バックホウ 0.8m 級 (ベースマシン) : 1台 - 2 往復	—	仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) A	構造物掘削特殊部 A で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—	仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) B	構造物掘削特殊部 B で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—	仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) C	構造物掘削特殊部 C で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—	仮設材等運搬費 ( 仮設構造物工 )	仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する仮設材 ( H 形鋼、覆工板、鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 仮桟橋で使用する仮設材の運搬費	—	土質等試験費	土の凍上試験 (JG50172-2009 凍上判定のための凍上試験 法) に要する費用をいう。	【土の凍上試験】 4 試料	—
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																
工事用機械運搬費	質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) アトラクタニッパー (カラーテ型 3.0 ~ 12.0 m) : 1台、1往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 土工 )	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) リッパブルドーザ 3.2t : 2台 - 3 往復 1台 - 1 往復 バックホウ 1.0m3 以上 : 4台 - 3 往復 湿地ブルドーザ 2.0t 級 : 1台 - 2 往復 1台 - 3 往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 国渠工 )	函渠工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) トラッククレーン 2.00t 級 : 2台、2往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 仮設構造物工 )	仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140 km (片道) クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台、2往復	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 鋼矢板土留工 )	仮設構造物工 ( 鋼矢板土留工 ) で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 2台 - 2 往復 【現場内移動】 クローラクレーン 5.0 ~ 5.5t 級 : 1台 - 1回	—																																																
工事用機械分解組立費 ( 地盤改良 )	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) バックホウ 0.8m 級 (ベースマシン) : 1台 - 2 往復	—																																																
仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) A	構造物掘削特殊部 A で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—																																																
仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) B	構造物掘削特殊部 B で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—																																																
仮設材等運搬費 ( 鋼矢板土留工 ) C	構造物掘削特殊部 C で使用する仮設材 ( 鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 構造物掘削鋼矢板土留工で使用する仮設材の運搬費	—																																																
仮設材等運搬費 ( 仮設構造物工 )	仮設構造物工 ( 仮桟橋 ) で使用する仮設材 ( H 形鋼、覆工板、鋼矢板等 ) の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離 - 約 140km (片道) 仮桟橋で使用する仮設材の運搬費	—																																																
土質等試験費	土の凍上試験 (JG50172-2009 凍上判定のための凍上試験 法) に要する費用をいう。	【土の凍上試験】 4 試料	—																																																

### 正誤表(5)

工事件名) 道東自動車道 占冠 P A 工事